

## 令和元年度「創成プロジェクト・総合工学演習」実施報告書

令和元年度も多くの学外テーマ提供者・サポート教員および学生の協力を得て、「創成プロジェクト」と「総合工学演習」を合同開催し、多くの成果を挙げる事ができた。

表1に令和元年度の創成プロジェクト・総合工学演習に関するスケジュールを示す。

表1 令和元年度「創成プロジェクト・総合工学演習」実施スケジュール

実施日	内容
4月8日(月)	「創成プロジェクト説明会」2番講義室(6校時)
4月15日(月)	「知的財産・発想法」についての講義 矢澤教授 2番講義室(6校時)
4月16日(火)	「テーマ決定と物品購入案内」2番講義室(6校時)
4月24日(水)	工学教育支援センター平成31年度第1回運営会議
5月14日(火)	創成プロジェクトサポート教員ミーティング
5月15日(水)	3者面談期間(～5月24日まで)
6月18日(火)	アイデア発表会 2番講義室(6校時)
10月8日(火)	中間発表会 2番講義室(6校時)
11月9日(土)	最終成果発表会 総合教育研究棟・多目的ホール(午後)
11月29日(金)	3大学工学部教育連携会議(富山大学)
11月30日(土)	学生ものづくりアイデア展 in 富山

4月8日の説明会で 種類のテーマの概要を紹介した後学生を募集し、最終的には表2に示す12チームに分かれて活動することになった。今年度は昨年度と同様、中間発表会を10月初旬に、最終発表会を11月初旬に設定し、11月末の学生ものづくりアイデア展に臨んだ。最終成果発表会では学外からの参加者も含めてものづくりの成果に対する説明やプレゼンテーションを行い、学生を含めた全員の投票で、第1位～第3位を以下のように選出した。

第1位:「QRコードによる案内サービス Quest touRの開発」チーム

第2位:「熱中症回避アプリの開発 ～熱中症を回避して野球に熱中しよう!～」チーム

第3位:「大戦コマの開発」チーム

11月30日の「学生ものづくりアイデア展」は富山大学で開催された。長崎大学から最終発表会の上位2チームが参加し、富山大学からの15チームおよび新潟大学からの11チームと成果を競い合った。その結果、長崎大学から出展された「QRコードによる案内サービス Quest touRの開発」チームが最優秀賞を、「熱中症回避アプリの開発 ～熱中症を回避して野球に熱中しよう!～」チームが優秀賞を受賞し、長崎大学学生が制作した作品の質の高さと着想の豊かさが評価された。

表2 令和元年度の創成プロジェクトテーマ概要

テーマ名	担当者	サポート教員
脳卒中片マヒの早期歩行のための長下肢装具の開発	宮下 雅貴 (情報・修士1年) 山村 悠真 (情報・修士1年) 藤原 航平 (情報・2年)	藤村 誠
スマートキャッシュトレイの開発 ～バーチャルもリアルもひとつのキャッシュトレイでOK～	市丸 理士 (情報・修士1年) 有馬 聡 (情報・4年) 白石 祐貴 (情報・4年)	小林 透
ARを使った教育コンテンツにおけるUnityプログラムの開発	上田 誠也 (情報・修士1年) 松崎 秀哉 (情報・修士1年) 草野 佑輔 (情報・2年)	藤村 誠
地球温暖化防止と芸術の融合 Green Art Cycleの実証実験	世永 宜之 (情報・修士1年) 山邊 心太郎 (情報・4年)	小林 透
錠剤オープナーの開発	若杉 勇弥 (情報・2年) 林 宏明 (電気・1年) 日高 悠人 (電気・1年)	大坪 樹
熱中症回避アプリの開発 ～熱中症を回避して野球に熱中しよう！～	鬼丸 禎史 (情報・修士1年) 白濱 謙弥 (情報・4年) 河邊 桜 (情報・1年)	小林 透
農業アシストのためのスマート水車の開発	東 倅主 (電気・1年) 京岡 龍樹 (情報・1年)	本村 文孝 佐々木 壮一
本明川洪水ハザードマップの一般住民への理解促進に向けた研究	橋本 千夏 (情報・1年) 福田 航生 (情報・1年)	高橋 和雄
大戦コマの開発	窄 佑夢 (化物・2年) 上野 真菜 (機械・1年) 江頭 菜々衣 (機械・1年)	扇谷 保彦
生産現場における画像の処理、活用	永吉 徹 (情報・4年) 半田 丈都 (情報・1年)	酒井 智弥
QRコードによる案内サービス Quest touRの開発	岸本 友太 (情報・修士1年) 和田 知也 (情報・4年) 横山 瑛士 (情報・1年)	小林 透
医療機器を体験して、未来の医療機器をつくってみよう	松尾 和季 (情報・3年) 豊永 一心 (情報・2年)	藪田 光太郎